

加賀中だより



発行所
加賀中学校
発行年月日
令和4年
7月15日

「自分を高める夏に」挑戦と努力」

校長 大場 めぐみ

一学期末を迎え、暑さが増してきた中、3年教室のエアコンが故障しました。教室にエアコンが整備されたのは、この15年ほどのことのように思います。汗をかきながら授業をしていたのを懐かしく思うと同時に、異常な気温上昇を実感します。幸い加賀中学校は特別教室にもエアコンが整備されているので、3年生はエアコンが使える教室に移動しました。他学年が同じ階で過ごすことになり、私たち教職員はいろいろと心配をしましたが、いつもと違うことが良い刺激になりました。コロナ禍で通常どおりではないことを幾度となく体験している生徒たちにとっては、そう心配することではなかったようです。イレギュラーなことが起きたとき、互いを思いやり、状況の中で最善を考え、行動できる生徒たちのたくましさを感じました。その後、エアコン修理が無事に終わり、3年生の生徒たちは14日には3年教室に戻りました。

笑輝祭く体育の部のあと、備前東地区大会や期末考査を終え、一学期の締めくくりを迎えます。

備前東地区大会は、6月18日、19日、7月2日にかけて、ほとんどの会場で保護者の方が観戦できる状況で行われました。応援に足を運んでくださった保護者の皆様、ありがとうございます。生徒たちの一生懸命な姿に感動をされたのではないのでしょうか。十分な練習ができなかった時期を何度も乗り越え、生徒たちが積み重ねてきた日々と努力に拍手を贈ります。

7月10日、車椅子テニス選手の国枝慎吾さんがウィンブルドンで初優勝を果たし、生涯ゴルフスラム(テニスの4大会とオリンピックの優勝)を達成しました。国枝さんは、全仏オープン前のインタビューで「自分を高めたい、それが今の大きなモチベーションです。」と答えていました。「勝つ」ことではなく、「自分を高める」ことがモチベーションという話を聞いて、なるほどと思いました。「自分を高める」ことにつながる挑戦と努力をしてほしいと思います。

さて、いよいよ夏休みに入ります。落ち着いていた新型コロナウイルス感染症の感染状況が悪化しつつあります。感染対策を適切に行い、健康に過ごしてください。また、社会や世界に目を向けて、考える時間をもってください。「自分を高める」夏休みにしてほしいと思います。

Updateされた皆さんに会えることを楽しみにしています。

今年は、3年ぶりに町内の祭が開催されると聞いています。また、加賀中学生が地域に出かけ、夏のボランティアに参加します。地域や社会の一員として中学生をご指導ください。よろしくお願いたします。



6月24日 3年生高校説明会



3年生を対象に、6つの高校の先生方をお招きして説明会を行いました。今年度は生徒主体で進行しより進路のことに



関心をもって取り組む時間となりました。夏休みには、オープンスクールに参加し、より高校について知っていきます。

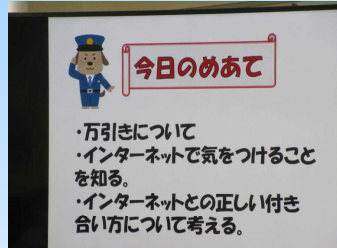
備前東地区夏季総合体育大会

備前東地区大会が6月18日、19日、7月2日(野球部)に開催されました。3年生にとっては、最後の地区大会でした。それぞれに今まで練習してきたことを発揮できたことと思います。

備前東地区夏季総合体育大会 (令和4年6月)		結果
種目		
野 球	準優勝	県大会出場
卓 球	男子 団体戦： 優勝 個人戦：新田大翔、菅野元輝 ベスト7	県大会出場
	女子 団体戦： 優勝 個人戦：大北紗和子、黒太理江、上村菜月 ベスト10	県大会出場
陸 上	孝本桃香 3年 100m 4位 200m 3位 内田圭祐 2年 1500m 6位 3000m 6位 久野村悠希 2年 1500m 2位 3000m 3位 桑村海帆 1年 100m 3位	県大会出場

非行防止教室

7月1日(金)岡山県警察本部より2名お招きし、2年生は「薬物乱用防止教室」、1年生は「非行防止教室」を行いました。



期末テスト前 放課後サポート



生徒同士の学び合いの場面も見られました。

夏休み・9月の主な行事

- 7月20日(水)～県大会
 - 陸上 20日・21日 砺波市総合体育館
 - 卓球 22日・23日 津山総合体育館
 - 野球 24日～倉敷運動公園野球場他
 - 吹奏楽 22日 予選大会
- 7月30日(土) 2年生PTC作業
- 8月10日(水)～16日(火) 閉庁日
- 8月19日(金) 生徒会リーダー研修会
- 8月29日(月) 3年登校日
- 8月30日(火) 全校登校日
- 8月31日(水) 2学期スタート
課題(自己診断)テスト
- 9月17日(土)・18日(日) 備前東地区 秋季総体

7月5日 2年生性教育講演会

講師に東森二三子さんをお招きし、「命のバトン」と題して、ご講演いただきました。一つしかない自分の命と周りの命を大切にしようと思える時間になりました。

